

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動の取組事例

「ゆうごうセミナーの成果と課題」(岩手県紫波町)

取組の概要や経緯

地域で活躍する多種多様な分野の指導者から知識・技術を学び、交流することで、**地域の良さやつながりを感じ、中学生の地域愛を育む**ことを目的として毎年開催している。



内容

○**地元NPO法人に事業委託**し、学校や地域住民等との連絡・企画調整を行い、**学校・地域の実情に合わせた事業**を行っている。
○対象者は紫波第一中学校1年生220名。郷土食作りや紫波町の歴史学習といった地域の特色を活かした体験学習やふるさと学習、IT(プログラミング)講座、地図の作成などキャリア教育につながる15講座を開催し、**中学生が地元の大人との交流を通して地域の良さを再発見し、いろいろな世代とのコミュニケーションをとおしながら、地域とつながるきっかけ**となっている。

(活動事例)郷土食講座、そば打ち体験、陶芸講座、スポーツ吹矢、自然・歴史散策、茶道体験、ハーブ活用講座、尺八・琴講座、着付け講座、スポーツチャンバラ、IT講座、地図の作り方講座、トールペイント講座、詩吟体験講座

ポイント

地域講師や教員、コーディネーター、教育委員会事務局担当者等事業に関わる全ての大人が、学校を会場に打合せ・振り返り会を開催し、事業目的や成果、課題等の共有をきめ細やかに行った。

成果

参加生徒に対して行ったアンケートでは、**9割以上の生徒が「地域との交流の機会となった」と回答した。**文化活動や体験活動に取り組むことにより、自主性や積極性、コミュニケーション能力の育成の一助となっている。講師として参加した**地域住民からも「子どもと関わるきっかけになった」との声が聞かれた。**講師以外にも、**地域の方が多数参加し、講座のサポートを担いながら、中学生と交流を育むことができた。**

	とてもそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
地域の人と交流ができた	70%	25%	3%	0%	2%
地域の人材や活動に新しい発見があった	55%	36%	6%	1%	2%

今後の方向性

○現在、「ゆうごうセミナー」は年に一度のみの開催である。事業成果の定着を図るため、開催回数を増やすことで、**多くの活動を行う機会を設けたい。**

○参加対象者が現在、紫波第一中学校の生徒のみ。開催地域を広げ、**町内全体へ活動を広げていきたい。**